

# 1. 事業報告書

## 平成29年度 事業実施状況報告

はじめに

平成29年度は、役員の改選期にあたり、6月開催の第68回定時総会において新体制が発足、スタートしました。

特筆すべき点は、二本柱として「適正就業」と「PR活動」を積極的に推進し、成果を挙げることができました。

適正就業の推進では、平成28年7月にスタートした労働者派遣事業を順調に伸ばすことができ、受注件数においては、都内58のシルバー人材センターで1、2を争うほどの実績を残すことができ、大きな成果となりました。

また、PR活動の推進では、従来のホームページを全面リニューアルによって、アカウント数も飛躍的に伸び、さらにリサイクル事業のホームページを立ち上げたことによって、詳しく事業内容を紹介、周知することができました。

このように、日野市シルバー人材センターは、地域社会に貢献する公益法人として、自主・自立、共働・共助の理念の下、社会奉仕活動にも積極的に取り組みながら、就業先の確保とさらなる会員増強を目指して事業を推進しました。

### 1 会員の状況

平成29年度末の会員数は、1,607人で前年度より16人（1.0ポイント）増加しました。年度末における会員数は、平成22年度から26年度まで4年連続して減少しましたが、27年度に増加に転じて以来、3年連続して増加しました。

年度内の労働者派遣事業を含む就業実人員は、1,339人で前年度より2人減少し、就業率は83.3%（前年度84.3%）と若干減少しました。就業実人員については、前年度から連続して1,300人を超えました。

表-1 男女別会員状況

	会員数	構成比	平均年齢	最高年齢	就業実人員	就業率
男	1,149人	71.5%	73.0歳	92歳	944人	82.2%
女	458人	28.5%	71.3歳	86歳	395人	86.2%
計	1,607人	100.0%	72.5歳	—	1,339人	83.3%

表-2 会員数、就業実人員の推移（派遣事業を含む）

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
会員数（人）	1,607	1,591	1,535	1,521	1,617
就業実人員（人）	1,339	1,341	1,242	1,222	1,248
就業率（%）	83.3	84.3	80.9	80.3	77.2

表-3 月別入退会状況と会員数

(単位：人)

月別	入会者			退会者			会員数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
4月	45	12	57	6	5	11	1,190	447	1,637
5月	16	11	27	5	3	8	1,201	455	1,656
6月	8	10	18	20	3	23	1,189	462	1,651
7月	16	3	19	10	1	11	1,195	464	1,659
8月	10	10	20	3	2	5	1,202	472	1,674
9月	5	2	7	8	0	8	1,199	474	1,673
10月	22	8	30	7	2	9	1,214	480	1,694
11月	12	15	27	9	7	16	1,217	488	1,705
12月	9	7	16	12	7	19	1,214	488	1,702
1月	8	4	12	10	2	12	1,212	490	1,702
2月	6	4	10	21	10	31	1,197	484	1,681
3月	0	2	2	48	28	76	1,149	458	1,607
合計	157	88	245	159	70	229			

表-4 年齢別入会者状況（入会時）

(単位：人)

	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳以上	計	平均年齢
男	24	63	41	21	8	157	69.7歳
女	19	34	27	8	0	88	68.3歳
計	43	97	68	29	8	245	69.2歳

表-5 退会理由別会員数

(単位：人)

	病気	就職	死亡	転居	希望する仕事がない	就業機会なし	家庭の事情	会費未納	加齢	センター運営への不満	未回答(不明)	その他	合計
男	41	26	10	8	11	4	8	12	18	5	4	12	159
女	19	12	0	6	5	3	14	1	6	0	0	4	70
計	60	38	10	14	16	7	22	13	24	5	4	16	229

表-6 在籍期間会員数

(単位：人)

	1年未満	1年以上	2年以上	4年以上	6年以上	8年以上	10年以上	合計
		2年未満	4年未満	6年未満	8年未満	10年未満		
男	137	142	162	173	162	118	255	1,149
女	71	81	85	63	59	28	71	458
計	208	223	247	236	221	146	326	1,607

## 2 事業実績

平成29年度の労働者派遣事業を含む事業実績は、受託件数8,167件で前年度より36件(0.4ポイント)減少、契約金額は、642,730,002円で前年度より15,115,506円(2.3ポイント)減少しました。

具体的には、公共事業においては、適正就業の観点から市内公園巡回清掃業務ほか3件の受注が終了したことも影響し、5,296千円(2.4ポイント)減少しました。民間事業においては、電子部品の組立作業など6件の請負になじまない契約の終了などにより、企業等の契約金額が、7,088千円(2.4ポイント)減少しました。家庭からの仕事は1,824千円(1.6ポイント)減少しましたが、これは、秋の長雨や1～2月の降雪による屋外作業の受注減が影響しました。また、独自事業においては、下半期のいきいきカルチャー教室が好調でしたが、リサイクル事業が伸びず、908千円(3.2ポイント)減少しました。リサイクル事業については、今後も引き続き経営の立直しを進めます。

次に、平成29年度における労働者派遣事業を含む契約金額の公民比率は、公共事業が215,646,299円で33.6%(前年度33.6%)、民間事業が427,083,703円で66.4%(前年度66.5%)となりました。なお、受注した仕事内容別(職群別)の内訳では、清掃や除草等の一般作業群(46.8%)と学校や市施設等の管理群(19.2%)の2群で全体の3分の2を占めており、体を動かす仕事が多い傾向にあります。

表-7 事業実績(派遣事業を含む)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
就業実人員		1,339人	1,341人	1,242人	1,222人	1,248人
就 業 率		83.3%	84.3%	80.9%	80.3%	77.2%
就業延べ人員		145,784人	148,846人	146,698人	135,121人	133,963人
受 注 件 数		8,167件	8,193件	7,979件	7,278件	6,974件
契約金額	配分金	540,915,784円	581,006,664円	561,514,373円	523,154,518円	500,734,279円
	材料費	22,757,110円	22,490,911円	20,263,732円	18,926,293円	15,845,745円
	事務費	47,507,625円	49,861,663円	54,532,733円	48,155,933円	41,495,923円
	合 計	611,180,519円	653,359,238円	636,310,838円	590,236,744円	558,075,947円
	派遣事業	31,549,483円	4,486,270円	—	—	—
	総合計	642,730,002円	657,845,508円	636,310,838円	590,236,744円	558,075,947円

表-8 契約金額/公共・民間別内訳(派遣事業含む)

(単位:円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
公 共		215,646,299	220,941,909	197,194,631	201,757,536	186,013,039
民 間	企業等	286,500,062	293,587,846	292,952,054	247,747,559	235,634,270
	家 庭	113,351,243	115,175,085	110,217,910	104,448,669	102,962,251
	独 自	27,232,398	28,140,668	35,946,243	36,282,980	33,466,387
	小 計	427,083,703	436,903,599	439,116,207	388,479,208	372,062,908
計		642,730,002	657,845,508	636,310,838	590,236,744	558,075,947

表-9 契約金額／職群別内訳（派遣事業含む）

（単位：円）

職群別	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
技 術	12,316,785	12,344,886	17,189,007	16,875,678	13,850,904
技 能	82,316,367	99,847,746	87,433,915	74,824,654	68,957,300
事務整理	80,796,110	78,407,531	83,278,398	78,652,897	74,203,563
管 理	123,608,483	126,643,848	107,308,853	105,441,321	101,178,036
折衝外交	20,698,149	16,805,762	15,110,528	17,157,869	22,011,969
一般作業	299,604,504	307,522,590	316,532,748	286,764,668	269,810,523
サービスほか	23,389,604	16,273,145	9,457,389	10,519,657	8,063,652
計	642,730,002	657,845,508	636,310,838	590,236,744	558,075,947

### 3 事業計画に対する実施状況

#### (1) 就業機会の拡大と提供

##### ①既存事業の拡大

公共事業の就業拡大にあたっては、日野市と連携してセンターにおいて就業可能であるか検討しました。大きなポイントは、平成30年度より小学校事務補助業務が派遣事業に切り替わったこと、新たにオープン実践女子短大グラウンドの管理業務が決まるなど着実に広がったことです。

##### ②新規事業開拓への取組み

シルバー多機能サロンの事業化については、継続的に検討を続けましたが、事業として採算が取れないとの判断から時期尚早との結論に至りました。

買物代行サービスは、事業委員会で検討を重ね、地域を限定して試行的に始動しました。今後は問題点、課題等を抽出して継続可能か検討します。

派遣事業については、職種の拡大を課題と捉えて就業先開拓を行った結果、荷物仕分けや製品製造、小売店での販売等に広がりました。

##### ③女性会員の就業機会の拡大

女性委員会と事業委員会において検討を重ね、女性会員の意向等を参考に、広報物等によるPR、子育て事業など女性会員の就業機会開拓・拡大について検討しました。結果として、労働者派遣事業においては、保育関連事業の深堀によって乳幼児保育、保育園用務、訪問介護補助などを新規開拓することができました。

また、日野市と協調してスタートした介護予防・日常生活支援総合事業も2年を経過し、28年度は7件の実績でしたが、29年度は9件となりました。今後も研修等を重ねて要員の確保、サービスの充実を図って推進します。

##### ④適正就業、人材派遣事業の推進

28年度に続いて、既存の契約のうち請負になじまないものを中心に、公共事業の契約4件、民間事業所の契約16件について検討した結果、29年度から派遣事業に移行

した契約10件、終了した契約10件と見直しを行い、法令遵守に努めました。

平成28年7月にスタートした労働者派遣事業は2年目を迎え、積極的な就業先開拓によって、保育関連、スーパーマーケット、荷物仕分けなどの業務を、のべ90件受注、契約金額は31,549,483円となりました。

## (2) 会員の増強

### ①会員増強対策

労働力人口の減少は、市場における高年齢者を含んだ労働力確保競争状態を招いており、センターにおける会員確保にも影響が出ています。入会会員を増やす対策として、2月と8月にセンターPRパンフレットの全戸配布、ホームページのリニューアル等を実施しましたが、28年度からは16名増となりました。

センターの今後の発展には、女性会員の増強が不可欠であることから、女性会員対象を軸に会員の減少防止にも努めました。女性会員の活動状況を紹介したり、各イベントへの参加呼びかけなどを中心に、『女性委員会だより』を3回発行して広く周知しました。

また、女性限定の入会案内説明会を3回（7月、9月、3月）開催し、合計45名が参加しました。説明会では女性会員による就業体験の発表や参加者をグループに分けて意見交換の場を設けるなど、センターの活動内容をイメージしやすく工夫し、入会促進を図りました。

### ②対外広報の強化

8月と2月には、カルチャー教室の受講生募集パンフレットに、会員募集や提供可能な事業等を掲載し、全戸に配布しました。

5月に開催した『シルバーいきいき祭り』は、583名の方々が来場。会員獲得と仕事内容のPRチラシを配布し、リサイクル事業を含めたセンター活動を広く紹介しました。また、10月のまちづくり市民フェアに参加し、手芸班の展示販売やチラシ配布による活動PRを行いました。

11月には、9年ぶりに日野市産業まつりに出展し、センター事業内容の宣伝と会員勧誘活動を行いました。広報媒体としてホームページの役割は、今後ますます重要となり、センター事業をよりスピーディーに、幅広く発信することが求められます。引き続きホームページの内容充実に努めます。

### ③会員の交流促進

女性会員の交流を深め、活動の活発化を図るための交流会は、11月に生活・保健センターで開催し、37名が参加しました。ミニミニ脳トレ体操を含めた内容で、楽しい交流ができました。このほか、趣向を凝らした会員および市民向け各種講習会等を次のように開催しました。

○ 陶器ペンダント講習会（5月）

参加者 15人

○ 布ぞうり講習会（7月）	参加者	23人
○ 交流会『南極北極科学館見学』（9月）	参加者	28人
○ 布のコサージュ作り講習会（2月）	参加者	15人
○ 交流会『春の多摩動物園』（3月）	参加者	17人

また、業務委員会では清掃に従事する会員の交流会を15回開催し、一人就業の不安や作業手順や安全就業も含めた意見交換などを行いました。

総務委員会では「仲間づくり」のための自主的組織の立ち上げを目途に、プロジェクトチームによる会員交流会を10回開催し、のべ120名が参加しました。

#### ④共助的組織の研究

会員相互交流PT（プロジェクトチーム）が通年で開催した会員交流会における効果等の検証を行いました。会員交流の発展形として互助会、共助会と呼ばれる組織がありますが、現状において組織することは難しく、今後は趣味を核とした仲間づくりを含め、次のステップに移ります。

### (3) 地域活動の充実

#### ①市内美化運動

公益法人の大きな役割として、市内美化のための清掃を実施しました。

・ 多摩川・浅川クリーン作戦（4月）	参加者	512人
・ 全地域班一斉清掃（7月）	参加者	530人

#### ②社会奉仕活動の多様化

地域社会との共生を図るため、社会奉仕活動の積極的な展開に努めました。

・ 小学校通学路見守り（4月～3月）	参加者	819人
・ 市立小、中学校あいさつ運動（奇数月 年6回）	参加者	350人
・ 東京マラソン会場ボランティア（2月）	参加者	10人

#### ③地域班の活性化

地域班会議の内容充実を図り、7月から8月にかけて開催する前期の班会議では、担当理事が出席し、「暑い夏場に向けての安全就業・対策」、「スクールガードボランティアに協力要請」などについて話し合いました。

・ 地域班会議出席状況	前期（7月～8月）	参加者	574人
	後期（12月～1月）	参加者	551人

### (4) 安全就業

#### ①事故発生件数を減らすための取組み

会員の就業において、安全はすべてに優先します。28年度は8件（傷害5件、賠償3件）だった事故発生件数の減少を目標に掲げ、活動計画を策定しました。

まず、就業現場安全巡回の方法を改め、2名体制による細かなチェックを行うこととしました。7月の安全就業強化月間に11職場、さらに11月から2月までに11職場の合計22職場を訪問し、安全就業基準による就業の点検と指導等を行いました。

7月の安全就業強化月間に発表する安全標語については、「転倒・墜落・転落事故防止」、「自転車事故の防止」をテーマとして、4月に募集しました。合計81点の応募があり、最優秀作1点と優秀作5点を選定して広報誌への掲載等を通じて安全啓発に努めました。

また、安全就業基準自己チェックの実施として、『安全就業10か条』の励行状況をチェック表に基づいて自己診断し、安全就業への意識を高めました。

しかしながら、今年度は残念ながら14件（傷害7件、賠償7件）の事故が発生してしまいました。事故の検証等を充実させて、今後の事故発生減少に努めます。

## ②交通安全対策

就業期限確認書を交付する職場に新たに就業する場合には、年3回（6月、9月、12月）安全管理委員長による安全講話を行い、交通安全も含めた就業における事故の未然防止と意識向上に努めました。

現在、わが国で多発している高齢者による交通事故を重く捉え、6月の定時総会において『高齢者の交通安全』をテーマに、日野警察署による講習会を開催しました。併せて事務局掲示板には、警視庁からの高齢者の交通事故情報を更新しながら通年で掲示し、注意を喚起しました。

## ③安全意識の醸成

27年度に転倒によって骨折に至る事故が5件発生した事実を受け、28年度に引き続いて「体力測定会」を職場や職群班からの推薦者を対象に実施し、71名が参加しました。現状の柔軟性や筋力などを自覚することで、事故の未然防止に繋げるための活動として、次年度以降も対象者を広げて継続します。

健康診断受診等に関する情報については、月刊さわやかなの誌面による呼びかけを行いました。

## (5) その他の施策

### ①会報紙（誌）の発行

広報委員会によって、毎月の『月刊さわやか』、7月に『シルバーひの』を発行し、ホームページとの新たな連携を図りました。

### ②第6次中期計画の策定

平成28年度から作業を始めた第6次中期計画の策定にあたっては、最終的に期間を平成30年度から平成32年度までの3か年とし、平成27年度に実施された会員アンケート調査結果を取り入れながら進めました。平成30年の上半期に発行の予定です。

#### 4 会議等の開催状況

開催年月日	主な内容
第68回 平成29年6月20日（火） 七生公会堂 ホール 会員数 1,669名 出席数 1,241名 （委任状 952、議決権行使書 4）	1. 平成28年度決算の承認 2. 理事10名の選任 3. 監事 1名の選任

#### 理事会の主な内容

開催年月日	主な内容
第1回 平成29年4月24日（月）	1. 正会員の入会承認について 2. 任期満了に伴う理事及び監事選任について 3. 職員給与規程の一部改正について 4. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について 5. 事業実施状況報告について
第2回 平成29年5月22日（月）	1. 正会員の入会承認について 2. 平成28年度事業報告及び決算について 3. 第68回定時総会付議事項について 4. 被表彰者の推薦について 5. 事業実施状況報告について
第3回 平成29年6月26日（月）	1. 正会員の入会承認について 2. 事業実施状況報告について
第4回 平成29年7月24日（月）	1. 正会員の入会承認について 2. 事業実施状況報告について
第5回 平成29年8月28日（月）	1. 正会員の入会承認について 2. 就業年齢制限の設定に関する要綱の一部改正について 3. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について 4. 事業実施状況報告について
第6回 平成29年9月25日（月）	1. 正会員の入会承認について 2. 事業実施状況報告について

## 理事会の主な内容

開催年月日	主な内容
第7回 平成29年10月30日（月）	1. 正会員の入会承認について 2. 事業実施状況報告について
第8回 平成29年11月27日（月）	1. 正会員の入会承認について 2. 事業実施状況等報告について
第9回 平成29年12月25日（月）	1. 正会員の入会承認について 2. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について 3. 事業実施状況等報告について
第10回 平成30年1月29日（月）	1. 正会員の入会承認について 2. 就業調整委員会設置規程の一部改正について 3. 事業実施状況等報告について
第11回 平成30年2月26日（月）	1. 正会員の入会承認について 2. 事業実施状況等報告について
第12回 平成30年3月26日（月）	1. 正会員の入会承認について 2. 平成29年度補正予算（第1号）について 3. 準職員就業規則の制定について 4. 諸規程の廃止について 5. 正規職員就業規則の一部改正について 6. 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について 7. 職員給与規程の一部改正について 8. 職員の採用に関する規程の一部改正について 9. 職員の昇任に関する基準の一部改正について 10. 職員の職務専念義務の免除に関する基準の一部改正について 11. 平成30年度事業計画について 12. 平成30年度収支予算について 13. 資金調達及び設備投資の見込みについて 14. 事業実施状況等報告について

## 5 事故の発生状況

### 年度別事故発生件数

	29年度	28年度	27年度	26年度	25年度
傷害事故	7	5	9	11	12
賠償事故	7	3	3	2	2
計	14	8	12	13	14

## 傷害事故

就業中・途上別	性別	事故の状況	程度
就業中	男	ドッグラン内に保管されている道具を戻そうと、ドッグラン内に入った際、足元に寄ってきた犬に足首を噛まれた。	通院
就業中	男	除草作業をしていたところ、蜂（地中に巣）に刺された。次第に具合が悪くなり救急搬送。アナフィラキシーショックと診断された	通院
就業中	男	植木のゴミの集積を終えてトラックが発車する際に、誤って扉とブロック塀の間に腕を挟んだ。	通院
就業中	女	建物の外に置いた傘を取りに行こうと、出入口のスロープを下っていたら、つまづいて転倒。前額部右側を強打した。	通院
就業途上	女	就業先に向かう途中、降雪後の凍結した道路を歩いていた際に、誤って転倒。腰と頭部を強打した。	通院
就業途上	男	就業先に向かう途中、降雪後の凍結した道路を歩いていた際に、誤って転倒。腕と頭部を強打した。	通院
就業途上	女	自転車で就業先に向かう途中、自転車と接触して転倒。腰を強打して骨折した。	通院

## 賠償事故

仕事の種類	性別	事故の状況	賠償金額
除草作業	男	エアコンの室外機のホースに絡みついたツタを刈り取る際に、誤ってケーブルも一緒に切断してしまった。	27,108円
除草作業	男	集合住宅に設置されている防犯カメラシステムのケーブルを刈払機で切断してしまった。	77,760円
リサイクル作業	男	家具搬出の際に、幅が狭かったため注意しながら動かしたが、誤って壁に当ててしまい、傷つけてしまった。	25,000円
屋外軽作業	男	発注者所有の脚立をガレージの奥から取り出す際に、誤って脚立と身体が車両に接触し、車体を凹ませてしまった。	51,840円
除草作業	男	刈払機を使用して作業をしていた際、養生していたが、飛んだ小石で車両のガラスを破損してしまった。	39,149円
リサイクル作業	男	家具搬出の際に、誤って壁などに接触してドアの木枠等を傷つけてしまった。養生していなかった。	未確定
公園作業	男	樹木の枝払い作業中、誤って切った枝が地上に落下。バウンドして人に当たり、ケガをさせてしまった。	未確定